

(平成29年2月10日国家戦略特別区域会議 合同会議 配布資料)

「東京都 自動走行サンドボックス分科会」の設置について

1、趣旨

- 「『日本再興戦略』改訂 2015（平成 27 年 6 月 30 日閣議決定）」及び「日本再興戦略 2016（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）」に基づき、我が国における「完全自動走行」の早期実現を図るため、国家戦略特区において、例えば車内に運転者が不在であっても遠隔装置を通じた監視等が円滑に行えるよう、所要の制度改正や手続きの改善などを、早急に行っていく必要がある。
- このため、東京圏区域会議の下に、「東京都 自動走行サンドボックス分科会」を設置し、羽田空港周辺地域等において最先端の自動走行システムを活用した様々な実証実験の企画・実施に取り組むとともに、現行の制度や手続きの抜本的見直しと併せて事後チェックルールを徹底した、いわゆる「サンドボックス」特区制度の構築を図る。

2、構成員等

- 国（内閣府）、自治体（東京都及び大田区等）及び民間事業者の三者によるものとするが、議題により必要な者を加える。
- 必要に応じ、オブザーバーとして総務省、経済産業省及び国土交通省等を参画させることができることとする。

羽田空港周辺地域等における自動走行システムの実証実験の推進

東京都は今後、政府で検討が進められている「**規制の砂場、サンドボックス特区**」を活用して、**羽田空港周辺地域等**においてレベル4を見据えた**最先端の実証実験**にスピーディに取り組む。

これらの取組を強力に推進するため、東京圏国家戦略特別区域会議に、自治体（東京都・大田区等）、関係省庁（内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省等）、民間事業者等が一堂に会した「**東京都 自動走行サンドボックス分科会**」の設置を提案

参考：羽田空港周辺地域

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、我が国の最先端技術を国内外に発信するショーケースを構築するとともに、2020年以降のレガシーとしていく。

